

2010年度 幌尻岳の山岳トイレ問題とその対策

高橋 健（日高山脈ファンクラブ事務局長）

まず当会実施の排泄物運搬事業報告を、最後に課題を記載する。今年度の幌尻岳清掃登山&幌尻山荘排泄物人力運搬事業は（財）自然公園財団の公益信託自然保護ボランティアファンド活動助成を受けて実施した。

1 第1回幌尻岳清掃登山&幌尻山荘排泄物人力運搬事業結果報告

主 催 日高山脈ファンクラブ

後 援 北海道日高振興局 日高北部森林管理署 平取町 平取町山岳会

日 時 2010年7月17日（土）から19日（月・祝）

会 場 幌尻岳ヌカビラ登山口・取水ダム・幌尻山荘・幌尻岳

参加者 23名（男性16名、女性7名）

内 容

（1）幌尻岳ヌカビラ登山口仮設トイレチップ協力金回収

登山口トイレの協力金（2009年9月13日から2010年7月17日まで）は3,399円でした。

（2）幌尻岳ヌカビラ登山口・取水ダム・登山道ゴミ回収

駐車場トイレのゴミは少なかった。途中の川原、登山道の真上に人様のウンコがあった。何も登山道の真上にしなくてもいいのにな～

（3）幌尻山荘水力発電機及びトイレの状況と排泄物汲み取り・密閉作業

山荘屋外流し付近の水力発電機及びバイオトイレはこの時点ではなんとか稼動していた。2日目以降の天候悪化が予測できたので、初日に汲み取りと密閉作業を決行。昨年9月に459.5kg（33人参加）を汲み取り、便槽を空にしており、バイオトイレも稼動していたので、排泄物は少なく、小分けにして収納し便槽を空にした。

（4）清掃登山

2日目は朝から小雨、とりあえず山頂を目指し、清掃登山開始。幌尻山荘の予約が取れないグループか？命の泉直下に2張のテント、1張は登山道上に幕営。命の泉周辺にトイレ跡なし。風雨が強まる。カール内のトイレ跡は数箇所です例年より少ない。山頂直下はかなりの強風。展望ゼロ。風をよけて小休止し、山荘へ引き返すこととした。3日目も雨が予測されることから日帰り組みをキャンセルさせていただき連絡を幌尻山頂から携帯電話で行う。

（5）排泄物運搬

3日目は小雨の中、増水気味の額平川を缶をおのおの担ぎ下山。

貯留量が少なく、今回157.5kgを運搬した。最大重量は唯一20kgを超えとなつ

た鈴木貞信さん（70歳台）で一斗缶2缶中身だけで21kg運搬、続いて秋元さんが17kg、事務局の高橋が15kgでした。ということで8月の汲み下ろしは中止し、9月のみ実施することにした。

2 2010年第2回幌尻岳清掃登山&幌尻山荘排泄物人力運搬事業結果報告

主 催 日高山脈ファンクラブ

後 援 北海道日高振興局 日高北部森林管理署 平取町 平取町山岳会

日 時 2010年9月18日～20日

会 場 幌尻岳ヌカビラ登山口・取水ダム・幌尻山荘・幌尻岳

参加者 参加者25名＋平取町役場職員2名

内 容

（1）幌尻岳ヌカビラ登山口仮設トイレチップ協力金回収

登山口トイレの協力金（2010年7月19日から9月18日まで）は3,143円でした。

（2）幌尻岳ヌカビラ登山口・取水ダム・登山道ゴミ回収

初日は晴れで、水量も少なかった。駐車場には一般ゴミに加え、沢靴が駐車場付近の山中に片方ずつ投げ捨ててあり、拾うと一足になり、参加者がこれはもったいないと受け取る。

（3）幌尻山荘水力発電機及びトイレの状況と排泄物汲み取り・密閉作業

山荘到着後、女性陣にも協力いただき汲み取り、缶密閉作業を行う。水力発電機故障によりバイオトイレの稼働日は少なかったのだが、天候不良により登山者も少なかったため、それほど排泄物の量は増えていなかった。今回の活動で屋外仮設トイレ便槽を空に、山荘内トイレ便槽の4分の3を汲み取った。

その後、日帰りされる平取町役場職員2名に一斗缶一缶ずつ担いで下山いただいた。

（4）清掃登山

2日目は朝から小雨のため出発時間を2時間遅らす。7時に山頂を目指し、清掃登山開始。3班は沢から北カールを目指す。1500m付近の尾根道からは北トッタベツ、中トッタベツの稜線が望める。命の泉周辺にトイレ跡はないがゴミが落ちていた。風はほとんどない。北カール壁、稜線、カール底は紅葉真っ盛りでした。トッタベツ岳、幌尻岳の山頂が見える。時折、ガスが晴れ、周辺の稜線が見える。11時45分に山頂に着くが、東カール側はガスで視界が利かないため、3班の到着を山頂で待ち、山荘へ引き返すこととする。13時30分頃、3班到着と同時に記念撮影し、小休止する3班以外は下山開始。16時頃、山荘に到着した。

（5）排泄物運搬

3日目は、恒例のカレーライスを食べた後、缶を各々担ぎ下山。晴天の中、水も少なく

好調に渡渉した。清水町在住の絵本作家 本田哲也さんと札幌市の宮野さんが、ともに 31 k g の排泄物を担ぎ、過去最重量タイ記録でした。71 歳の鈴木貞信さんは 27.5 k g、最高齢、74 歳の上野文明さんも 13 k g を運搬され、古希を超えたお二人の取組みに感服した。今回も参加者の怪我なく事業を終了できてホッとした。

運搬量は皆さんの力量の個人差があるので、それはさして重要なことではなく、それよりも汲み取り、人力運搬という、人がもっとも嫌がる作業に参加するという意識、そして実際に参加されたという行為に対し、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

3 課題と改善策の提案

水力発電機が故障してバイオトイレが動かないという状況が続いている。水量は確保されているようなので、使用に耐えうる機器に更新すれば問題はないようだ。故障箇所も毎回同じ部品のようなので、メーカーに発注して終わりということではなく、どうすれば継続して 3 ヶ月の使用に耐えうるのかを検討し、実行に移すべきだ。水力発電は故障が多いからガソリン燃料の発電機に変えてしまえという議論が、もしあるのであれば、これは乱暴な意見だと感じている。

もし設置者が管理者に丸投げし、また管理者が設置者への報告を怠り、内部処理して済ましているとすれば、これもまた問題のある行為と言える。

来年以降、バイオトイレが順調に稼動しても山荘トイレ・仮設トイレの利用はなくならない。それは設置基数が少ないから。

管理者である平取町役場には、利用料金値上げによる受益者負担＝へり運搬、または地元土建業者等による人力運搬の検討を早急にすべきであると感じている。1000 円値上げ×利用者 3 千人＝3 百万円で運搬代は捻出できる。

受益者＝ほとんど道外在住者は、排泄物がボランティアによる人力運搬されていることは知らずに幌尻山荘を利用している。さらに山荘利用者の大多数を占める道外在住者は、1500 円という山荘利用料が安すぎると感じている（過去の当会のアンケート調査により）わけだから、利用者が減るから利用料の値上げはできないという論点は的外れである。

山岳環境を守っていくための対価を受益者に負担してもらう方法を検討することはいいことだと思う。いつまでもボランティアが運搬するのはできないと感じている。

ファンクラブとしては、もともと実施していた清掃登山を拡大し、早池峰山の人力運搬の方法を事務局長である私と幌尻山荘管理人の稲垣さん（当時はファンクラブ理事、現在は副会長）が現地で体験し、アレンジして幌尻山荘で 2005 年から実施して昨年で 6 年。

今回を含め延べ 232 名のボランティアのご協力により約 2787 k g もの排泄物を運搬してきた。

ファンクラブでは今後も、排泄物がある限り、その他の方法が取られないのであれば、排泄物を野山に捨てないために人力運搬を継続したいと思っている。ただし毎年のことだ

が、実施は予定である。バス代や参加者の保険料、ビニル袋などの消耗品といった経費は、助成金で賄われている。そのため助成金がなければ、この事業は実施できない。今年は（財）自然公園財団の公益信託自然保護ボランティアファンド活動金で実施した。

今年は、2ヵ年連続で実施できていない七つ沼カール清掃を兼ねて、第1回が7月16日（土）～18日（月・祝）、第2回が9月17日（土）～19日（月・祝）を予定している。助成金が出ない場合は、第1回のみ清掃登山としてファンクラブ会員限定事業として実施する。2回目以降は助成金があたったら、またご連絡します。今後ともみなさまのご協力をお願いいたします。ただし今回、沢初心者というか登山初心者が参加者のなかについて、大事に至らなかったものの疲労で足を踏み外し滑落するという事態が発生した。担ぎ下ろしはあくまで経験者が行うもので、山荘排泄物と山中のゴミ運搬が目的なのでピークハンターや物見遊山が目的の方はご遠慮願いたい。幌尻が初めては仕方がないとしても、それと同等の山歩き、沢歩き、さらには山中での宿泊経験をお待ちの方を対象に実施しているので、ご了承願いたい。

活動状況(1)

活動状況がわかる写真	写真の説明
	第1回幌尻岳清掃登山 2010年7月17日 登山口駐車場清掃 登山口の駐車場の清掃風景です。道外居住者が8割を占め、公共交通機関の無い本山域では、レンタカーの利用者が多く、登山口でゴミを捨てていく登山者が後を絶ちません。
	第1回幌尻岳清掃登山 2010年7月17日 登山口トイレ清掃 登山口駐車場に実施団体(日高山脈ファンクラブ)が独自に設置しているトイレの清掃風景です。トイレ内にゴミを捨てていく登山者が多いのも実態です。
	第1回幌尻山荘排泄物運搬 2010年7月17日 幌尻山荘トイレ排泄物汲み取り作業 幌尻山荘トイレ(貯留式)の排泄物をひしゃくで汲み取り、缶に入れておいたビニル袋へ投入します。3人一組で作業を行います。異常なほどの悪臭が漂っていますが、参加者はもくもくと作業をしています。

活動状況(2)

活動状況がわかる写真	写真の説明
	第1回幌尻山荘排泄物運搬 2010年7月17日 幌尻山荘トイレ排泄物収納密閉作業 缶の中のビニル袋に排泄物を入れたら、ビニルテープで液体が出ないようにします。ビニル袋は2重にしています。
	第1回幌尻山荘排泄物運搬 2010年7月19日 幌尻山荘トイレ排泄物収納密閉終了 密閉した缶の外側にもビニル袋をかぶせ、さらに密閉します。大きい缶が一斗缶で中身だけで10kg～17kg、小さい缶が4リットル缶で2～4kgあります。体力のある方は一斗缶を2缶(過去最大で中身だけで31kg)背負い、外の荷物も併せると40kgを越える荷物を背負って林道終点まで3時間ほど歩行します。
	第1回幌尻山荘排泄物運搬 2010年7月19日 幌尻山荘トイレ排泄物下界処理 麓の平取町振内地区の公園トイレ便槽に、運搬してきた排泄物を投入し、缶を洗浄して終了となります。この投入作業は簡単そうに見えますが、排泄物が触れないよう投入するにはコツが必要な大変な作業です。

活動状況(3)

活動状況がわかる写真	写真の説明
	第2回幌尻岳清掃登山 2010年9月18日 登山口駐車場清掃 駐車場周辺の山中に捨てられていた沢靴(片方ずつ捨てられていました)
	第2回幌尻山荘排泄物運搬 2010年9月18日 幌尻山荘トイレ排泄物汲み取り作業 幌尻山荘外に平取町山岳会が設置している仮設トイレ(貯留式)の排泄物をひしゃくで汲み取り、缶に入れておいたビニル袋へ投入します。
	第2回幌尻岳清掃登山 2010年9月19日 幌尻岳清掃 山頂到達風景 登山道のゴミやトイレ跡のティッシュ等を拾いながら山頂へ、悪天候のためすぐに山荘へ下山しました。

活動状況(4)

活動状況がわかる写真	写真の説明
	第2回幌尻山荘排泄物運搬 2010年9月20日 幌尻山荘トイレ排泄物背負状況 排泄物を入れた缶を背負子やザックに収納し、下山前に幌尻山荘前で集合写真を撮りました。
	第2回幌尻山荘排泄物運搬 2010年9月20日 幌尻山荘トイレ排泄物背負状況 排泄物を入れた缶を背負子やザックに収納した状況です。
	第2回幌尻山荘排泄物運搬 2010年9月20日 幌尻山荘トイレ排泄物運搬状況 幌尻山荘から林道終点までのルートの半分は登山道が無いので、このように沢の中を歩行します。そのため沢歩行の出来る難易度の高い登山技術を有した方に参加を限定しています。